

1. 評価報告概要表

評価確定日 平成20年8月13日

【評価実施概要】

事業所番号	2278100223
法人名	株式会社 オハナ
事業所名	三ヶ日グループホーム
所在地 (電話番号)	浜松市北区三ヶ日町都筑2922-2 (電話) 053-526-2922

評価機関名	静岡県社会福祉協議会
所在地	静岡市葵区駿府町1-70
訪問調査日	平成20年4月30日

【情報提供票より】(20年4月15日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 3 月 1 日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	17 人	常勤	16 人, 非常勤 1 人, 常勤換算 16.8人

(2) 建物概要

建物形態	単独	新築
建物構造	鉄骨	造り
	1階建ての	1階～階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(150,000 円)	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	400 円	昼食	500 円
	夕食	500 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 1,500 円			

(4) 利用者の概要(4月15日現在)

利用者人数	27 名	男性	8 名	女性	19 名	
要介護1	4 名	要介護2	5 名			
要介護3	7 名	要介護4	5 名			
要介護5	6 名	要支援2	0 名			
年齢	平均	84.4 歳	最低	68 歳	最高	97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	はまなこ病院
---------	--------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは浜松西北猪鼻湖東側の小高い丘の一角に平屋造りの静かなたたずまいを見せている。「太陽」「水」「緑」の3ユニット名は周囲の景観にマッチしている。また菜園・花壇を綺麗に整備し、飼っている犬に触れ合うことができるよう整備している。内部はT字型の頂点に三方開口の受付があり、利用者の各棟への移動がスムーズにできる。職員の明るい態度、利用者の穏やかな表情や動きに対応の良さが汲み取れる。状況を勘案しながら年1回の外泊の旅、月1回の外食を定着化し、共に楽しみの時間を共有している。地域との共存・関係性を重視しており、ホームの開放に努め利用者と地域のつながりを実践している。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	介護計画の見直しはアセスメント・モニタリング・記録の方法について継続して再考されたい。市との連携が活発に行われるよう、働きかけに期待する。注意を必要とする物品管理は適切に行っている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者が評価の意義について説明し、ユニット毎に職員全体で取り組み纏め上げた。一部に施設長任せがあり次回に期待したい。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	5月27日に第1回開催を予定している。三ヶ日高校介護実習担当、自治会長、老人クラブ会長、民生委員、家族・利用者の代表、役員介護担当の出席が予定されており、今後、定期的な開催により、双方向的な意見交換がサービス向上に活かせることを期待する。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族会の開催や意見箱の設置、ホーム便り、電話、来訪時など何でも言ってほしい旨を伝え、発言を促している。書式や運営への反映等の仕組みがあり、即対応していく姿勢が汲み取れる。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	開設にあたり、懇ろに地域と意見交換し理解を得られるように努め、関係が構築されている。祭事の休み処、盆踊り、子供との交流や高校福祉課の実習生の受け入れ等、個人情報に配慮しながら積極的に共存を実践している。運営推進会議を利用し、災害への協力体制を推進することを検討されたい。

2. 評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	一人ひとりの人生が輝くようにという理念のもと、地域社会との繋がりの中で、人としての尊厳を大切にし、役割を持ち穏やかに暮らしていけるようなサービス提供に取り組んでいる。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	見やすい位置に理念を掲示し、管理者・職員が共有している。言葉かけや態度、記録等に配慮し、その人にあつた支援、気持ちをj知ることj時間をかけ、一緒に行動している。ミーティングにおいて具体的ケアについて、統一を図っている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	開設に際し当初から意見交換を懇に行い、また町会に加入し情報収集に心がけている。祭事の休み処、廃止された町の盆踊りの復活、敬老会での園児の来訪、高校の介護実習の受け入れ等、場の提供を積極的に行い、人の出入りも多い。高校文化祭への招待に出かけていく機会もある。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者は評価の意義や活用について説明を行い、分担しながら全員で取り組んでいる。評価における課題は点検と具体的な方法、手順について検討している。前回評価の課題には真摯に取り組む改善している。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	第1回運営推進会議を5月27日に開催予定である。メンバーは実習受け入れの三ヶ日高校介護担当職員、自治会長、老人クラブ会長、民生委員、家族、利用者、役場介護担当係を予定している。	○	参加者に会議の意義や役割を十分に理解して参加してもらえるよう働きかけ、意見交換によりサービスの向上につなげられるよう期待する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	併設のデイサービスにおいて、ホーム主催の介護教室や認知症サポーター養成講座を行っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ホーム便りは毎月カラーで発行している。個人情報に配慮しながら、行事における利用者の写真や個別コメントも添えられており、イベント開催時の家族参加を促している。サービスの利用明細書・立替金明細書は便りと共に家族に送付し、控えを保管して金銭管理も明確である。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	現時点で投稿がないが、意見箱を設置している。電話や来訪時など何でも言ってもらえるよう留意している。意見、不満、苦情等について申し立てがあった場合の書式があり、速やかに検討して改善を行い運営に反映できる仕組みがある。家族会も年1回開催している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	開設当初は退職者があったが、現在定着している。ユニットごとの異動は行われるが、棟続きで利用者も往来可能であり、影響が出ないよう努めている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修参加の機会を積極的に促し、資格取得を推進している。活動報告書のフィードバックを行い、共有している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホームの連絡会に参加し、情報を得ているほか、他のグループホームの実習を受け入れている。法人内部での情報交換は密であり、サービスの質の向上に努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	来訪や電話の問い合わせの際に見学を促し、実際に生活の場を見てもらい本人・家族と十分話し合いながら利用をすすめている。体験入居も可能であり、様子を見ながら利用に移行できる仕組みもある。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者各々の性格や状態に応じ、本人の思いの汲み取りに努めている。センター方式を利用し洗濯物をたたむのも利用者職員が共に行い、状況を観察しながら押し付けにならないように配慮している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式のアセスメントを利用し、希望や思いなど小さなことでも書き込むことで共有化を図っている。また家族から情報を得たり、一緒に行動し表情や行動から利用者の気持ちを知らせかけを積み重ねている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	気付いたことは記録し、ケース検討会で意見交換を行い介護計画の作成に反映させている。日頃の関わりの中での気づきを大切に、必要な支援を盛り込めるよう共有している。介護計画は家族に説明し同意を得ている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	前回、見直し期間が1年で課題となった項目である。サービス提供項目に対する考察がケース記録に記載された箇所があったが介護計画との関連性が確認できなかった。	○	定期的な見直しの手順や記録の方法について再考し、利用者や家族等の状況の変化に応じた介護計画の見直しにつなげてほしい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院・理美容・早期退院支援を行っている。また年1回の外泊も継続して行い、職員が学ぶ機会となっている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関を確保し、月1回の定期的外来受診を行っている。また本人・家族の希望に添って今までのかかりつけ医での医療も受けられ、受診結果については共有している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時、「ホームにおける健康管理と医療について理解と協力の御願い」を配布し、医療対応確認票にて急変した場合の対応、終末期について説明を行い、意向の確認を取り交わしている。状況に応じ書面の変更もあり、方針について全員で共有している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の権利と尊厳を意識し、声掛けや対応に留意し、記録の取り扱いもきちんと行われている。ホーム便りやホームページの写真の掲載について、家族の許可をとる等配慮している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	アセスメントや日々の状況を把握し、利用者個々のペースや気持ちを尊重している。車での外出も本人の希望に添った形で行っている。水槽の生き物や犬の世話、食器を拭いたり、洗濯物をたたむなど役割を率先して行うことを見守っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	昼夕食は委託(同一法人)であるが、希望や好みを反映できる仕組みがある。週2日はホームで調理、献立や買い物、下ごしらえ、片付けなど行っている。介助の必要な利用者の隣に職員が座り、一緒に食事をし家族的雰囲気がある。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ユニットごとで基本的な入浴の仕方は決められているが、希望により毎日でも入浴できるよう支援している。自力入浴ができる利用者は早朝・夜間も可能となっている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	月1回の外食や年1回の外泊は共に定着しており、ホームでは味わえない「家族」を意識することができる。日常では個々にできるところを伸ばすように支援したり、希望によりお酒や煙を嗜むことができ、楽しみとなっている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	本人の気分や体調に合わせ、散歩や庭での畑仕事、買い物、買出し、配食の受け渡しなど、職員と共に行っている。家族と出かける機会もある。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は施錠していない。3ユニットの居間が見渡せるところに事務室が位置し、見守りが行われやすい。外出傾向は察知し対応を行っている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	方法・手順がマニュアル化され、月1度防災訓練を実施している。現在、地域の訓練への参加はなく、協力要請も行っていない。	○	地域との交流は頻繁に行われているので、災害時の協体制作りを推進されたい。また運営推進会議においても災害時支援への働きかけを期待する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は法人併設の管理栄養士が行い、おやつや補食も含め利用者一人ひとりの摂取量や水分状況を毎日チェック表に記録し、情報を共有している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節のいけばな、ユニット毎にユーモラスな利用者の写真のパネル、大きな真鯉が泳ぐ壁面飾りつけなど各々の工夫が心和ませる。共有空間は広くゆったりしている。広角のオープンウィンドウにはソファがあり、視線を遮るコーナーもある。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの品や家具が、利用者が使いやすいように配置されている。位牌や、孫の絵手紙が飾ってあるなど個々の好みがあり、自分が前に過ごした雰囲気と同じと安心感を持っている利用者があり、自室を大切にしていることが汲み取れる。収納場所が多く、居室は広くゆったりしている。		